

脳神経外科/2003

脳神経外科医長 相澤 希

診療状況

平成12年10月から診療スタッフは同様に佐古和廣、徳光直樹、白井和歌子、相澤 希の4名で行っており4年間は変化ありませんでしたが、4月に佐古が当院院長に昇格し副院長時代とは全く異なり、病院経営ばかりでなく多くの難問に対し、精力的かつ誠実に対応し毎日頑張っております。

外来は14年10月から2診制ではありますが担当日を従来とは変更し佐古、相澤、徳光が3枠、白井が木曜日の1枠を担当しております。

平成15年の新規登録患者数は1862名で、昨年の1851名と比較し11名の増加となっておりますが、この病院の守備範囲から考えるに年間2000名弱が限度でしょう。

病棟は平成10年から27床となっており、入院患者数は11年が369名、12年が448名、13年が502名、14年が492名、平成15年472名となっております。本年の減少は11月に脳血管撮影装置入れ替えのため約1ヶ月間検査入院が制限されたために、検査入院数が減少したことが原因と判断しております。

疾患別では脳虚血が174(36.9%)、脳内出血90(19.1%)、くも膜下出血25(5.3%)、未破裂脳動脈瘤15(3.2%)、脳腫瘍18(3.8%)、頭部外傷73(15.5%)と脳虚血と脳内出血の入院数が増加したことによるものですが、血圧の管理が改善されつつある現在でも、まだまだ住民の血圧管理に対する意識の低さがあるようです。

手術

平成15年の手術件数は143件と昨年比19件減でした。

内容は動脈瘤clipping術32件(内未破裂動脈瘤clipping13件40.6%)で、このうち未破裂脳動脈瘤のclipping術件数の比率が徐々に増加しております。今後も未破裂動脈瘤の手術件数は増加するばかりでなく、脳血管装置の改訂により血管内治療件数が漸増すると考えております。

一方腫瘍摘出術は下垂体腺腫も含めて14件と例年と変化ありませんでした。

その他は別表をご参考ください。

総数143件			
脳動脈瘤	32件	脳腫瘍摘出術	14件
clipping	32件	神経膠腫	2件
coiling	0件	髄膜腫	5件
血行再健術	9件	開頭血腫除去術	10件
STA-MCA	0件	定位的血腫吸引術	4件
CEA	4件	微小神経血管減圧術	2件
PTA	5件	慢性硬膜下血腫穿頭術	32件

その他

本年の脳血管撮影装置の入れ替えにより、CT、MRI、AGと脳神経外科としては診断装置が全て改訂され、今後しばらくは現スタッフで一層頑張つて参りますので、皆様のご指導ご鞭撻、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。